



Sustainability Report 2023

株式会社 イデックスビジネスサービス

IDEX BUSINESS SERVICE INC.



Contents

■ サステナビリティ方針

■ 環境保全

■ 労働と人権

■ 持続可能な調達

■ ガバナンス

サステナビリティ
方針

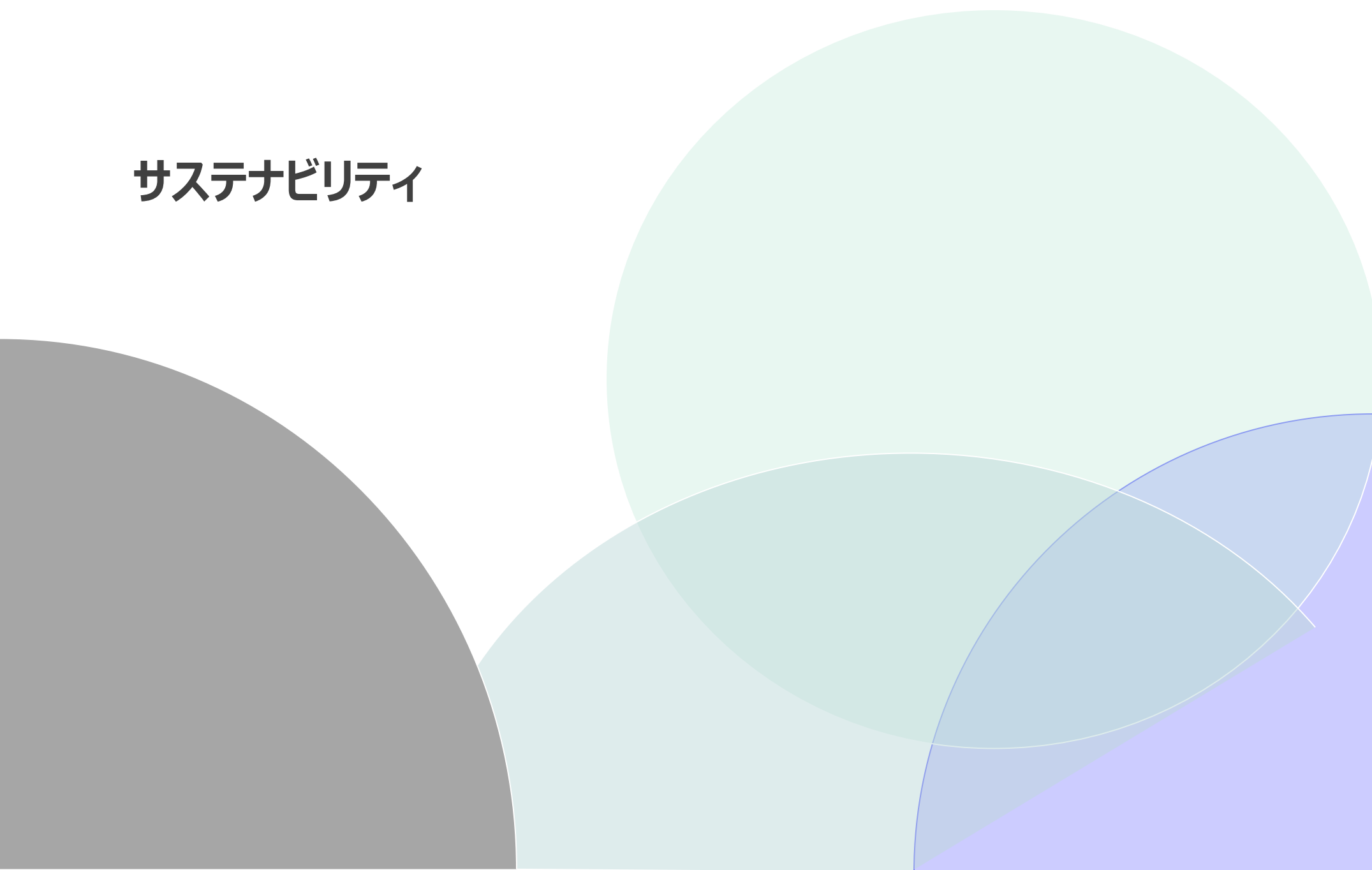
環境保全

労働と人権

持続可能な
調達

ガバナンス

サステナビリティ



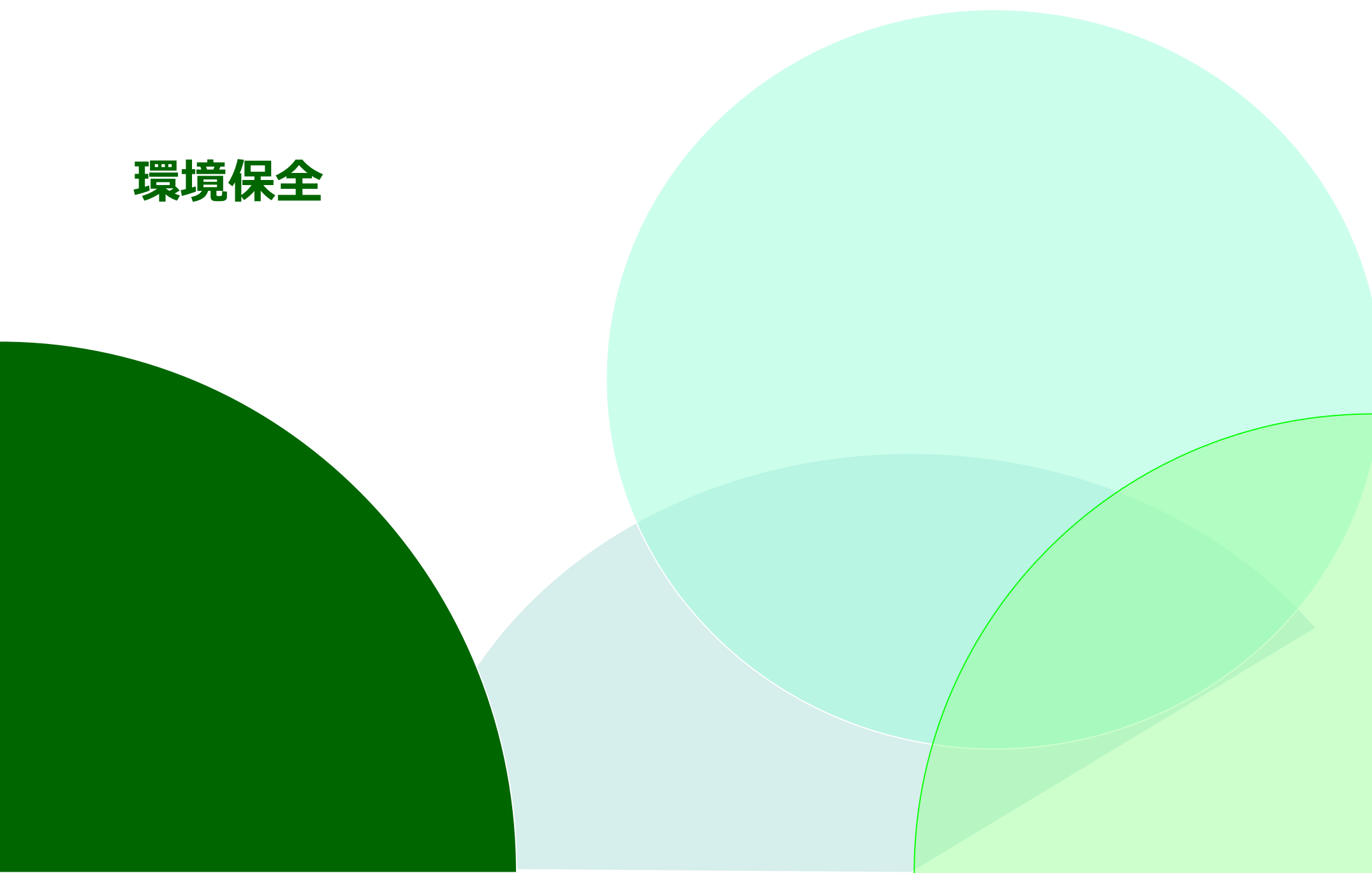
サステナビリティ方針

イデックスビジネスサービスは、パーパスである「人と人がつながる未来のオフィスをつくること」の実現のために、オフィス環境を通してお客様の「働き方の進化」をサポートし、次世代（未来）のワークスタイルソリューションをワンストップで提供することをミッションとして掲げています。このミッションを果たしながら、社会や環境が抱える課題の解決に取り組み、お客様やパートナー企業様、社員とその家族など全てのステークホルダーの期待に応え、社会に貢献することを目指していきます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



環境保全



サステナビリティ
方針

環境保全

労働と人権

持続可能な
調達

ガバナンス

環境基本方針

イデックスビジネスサービスは、気候変動や廃棄物処理をはじめとする地球規模の環境課題は現代社会の最優先課題であると考え、地球環境を保全し次世代に引き継いでいくために、企業活動を通じて環境に配慮した取り組みを実践してまいります。



資源循環への取り組み

▶エコキャップ運動への取り組み <https://ecocap.or.jp/>

NPO法人エコキャップ推進協会のエコキャップ運動の目的は、リサイクルの促進、CO₂の削減、売却益による発展途上国の医療支援、雇用創出です。

イデックスビジネスサービスでは2021年11月よりこのエコキャップ運動へ参加しています。

◎累計実績

寄付個数	19,250個
寄付額	¥111
ワクチン	5.55人分



▶使用済クリアホルダーリサイクル実施 <https://www.askul.co.jp/kaisya/shigen/>

2023年度より、クリアホルダーの再資源化への取り組みを開始しました。オフィスに眠ったままになっているクリアホルダーをアスクル株式会社へ提供致しました。



JCVペットボトルキャップ寄付証明書

2023年 2月 28日 ID 6011774

株式会社イデックスビジネスサービスさま
福岡県福岡市博多区店屋町6-18 ランダムウエア2F

受領日	重量	寄付金額	ポリオワクチンで
2022/3/28-2022/11/4	37.0Kg	111円	5.55人分
累 計	37.0Kg	111円	5.55人分

ご寄付はワクチンにかえて開発途上国の子どもたちへ届けます。
ご支援に心より感謝申し上げます。



認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
www.jcv-jp.org

エネルギー削減

▶ 節電への取り組み

SDGsの観点から、また電力需給ひっ迫対策として昼休みの消灯を始めとした切電に取り組んでいます。

2021年度⇒2022年度 4%削減

オフィスの電気資料量

65,446

62,914

2021年度

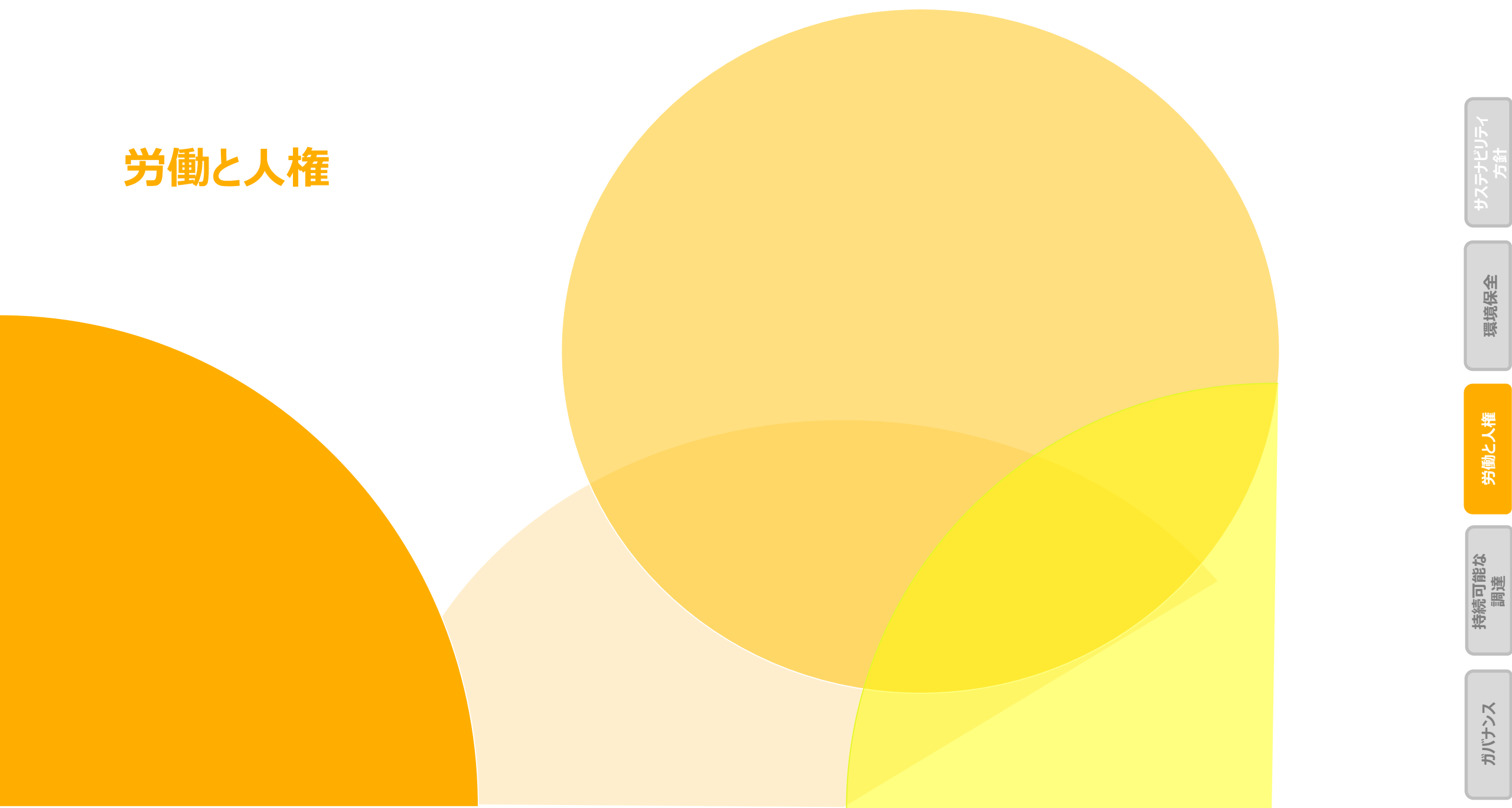
2022年度

(単位: kw)	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月
2L-2 電気	1,243	1,437	1,504	
2L-6 電気	560	643	595	
2P-2 空調	85	131	406	
2P-12 空調	95	416	946	
2L-3 電気	359	387	403	
2L-4 電気	10	11	16	
1P-6 空調	109	176	363	
2L-5 電気	497	532	546	
2P-1 空調	594	283	668	
計	3,552	4,016	5,447	0

(単位: kw)	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2022年度合計
2L-2 電気	1,201	1,274	1,344	1,395	1,504	1,471	1,378	1,188	1,103	1,222	1,130	1,277	62,914
2L-6 電気	555	660	620	586	638	583	609	585	554	658	543	607	
2P-2 空調	122	169	371	679	987	1,568	180	106	631	762	423	148	
2P-12 空調	148	457	1,037	1,509	1,486	76	362	74	69	132	90	104	
2L-3 電気	399	430	431	377	405	383	390	372	367	394	359	397	
2L-4 電気	66	69	57	23	21	22	23	18	20	20	14	17	
1P-6 空調	160	180	542	697	886	499	188	92	585	809	567	360	
2L-5 電気	454	470	505	463	562	526	513	513	475	533	533	554	
2P-1 空調	333	352	751	1,258	1,552	785	394	472	1,765	1,679	1,540	918	
計	3,438	4,061	5,658	6,987	8,041	5,913	4,037	3,420	5,569	6,209	5,199	4,382	

(単位: kw)	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2021年度合計
2L-2 電気	1,334	1,292	1,445	1,350	1,333	1,213	1,294	1,251	1,164	1,282	1,139	1,387	65,446
2L-6 電気	593	603	601	597	623	587	572	630	561	658	498	549	
2P-2 空調	120	236	449	413	547	412	195	461	903	1,399	1,081	670	
2P-12 空調	97	436	965	1,806	1,788	1,177	619	80	98	317	284	219	
2L-3 電気	565	536	565	548	549	527	530	544	502	561	498	518	
2L-4 電気	21	5	24	31	37	23	31	33	29	35	33	45	
1P-6 空調	78	109	441	863	611	528	295	131	416	486	784	304	
2L-5 電気	570	510	500	404	427	385	456	468	417	471	393	461	
2P-1 空調	196	296	694	1,141	985	669	551	952	1,245	1,735	1,606	750	
計	3,574	4,023	5,684	7,153	6,900	5,521	4,543	4,550	5,335	6,944	6,316	4,903	

労働と人権



サステナビリティ
方針

環境保全

労働と人権

持続可能な
調達

ガバナンス

人権に関する方針

イデックスビジネスサービスは、性別、年齢、国籍などの外面の属性や、職歴、価値観などの目に見えない内面の属性にかかわらず、それぞれの個を尊重し、相互に認め合い、良いところを活かし合うことにより、すべての働く人が個性や能力を十分に発揮し、いきいきと活躍できる職場環境の実現をめざします。



健康経営への取り組み

イデックスビジネスサービスは、社員の心身の健康を重要な課題と捉え、健康経営を更に推進するために「健康経営宣言」を2021年3月に制定いたしました。これまで会社を中心に進めてきた、従業員の健康に関する様々な取り組みや活動を体系化し、健康経営を当社の強みとして挙げられるよう活動を加速させてまいります。

▶健康セミナーの実施

『病気にならない体づくり』を目指し、社員の健康増進施策として健康セミナーを実施しています。

2023年7月25日	健康経営サポート運動セミナーを実施
2023年6月9日	健康経営サポート食育セミナーを実施
2023年1月26日	乳がん社内セミナーを実施
2022年12月14日	「睡眠セミナー」～ もっと知りたい 睡眠のおはなし ～を実施
2022年7月12日	健康づくりセミナー「笑いヨガの紹介と実践」を実施
2022年6月10日	健康経営サポート食育セミナーを実施
2022年1月20日	子宮頸がん社内セミナーを実施
2021年9月10日	健康づくり実践講座「バランスの取れた食事」を実施
2021年6月17日	健康づくり応援出前講座「働くスタッフのための肩こり・腰痛予防講座」を実施

※「健康経営優良法人」認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を日本健康会議が認定する制度です。

「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました。



人財育成

イデックスビジネスサービスでは、社会の変化を受け入れ、自らの行動に変化を起こし、その先の未来を切り拓いていくために変革を推し進める人財を育成していきます。そして、若い世代の意見を吸い上げ新たな視点を持ち、挑戦する人財に幅広く活躍の機会を与え、承認する企業風土を醸成していきます。また、人財の多様性に対応した自発的な学びの場を提供することで、その人がその人らしい働き方を実現できることを支援していきます。

▶ 研修制度

職業能力開発・自己啓発の機会を与えるために、人財育成方針に基づいた多様な教育プログラムを用意しており、社員の自律的な成長を支援しています。

	新入社員	若手社員	中堅社員	マネージャー
階層別研修	内定者研修	2年目 フォローアップ研修	管理職候補者研修	考課者研修
	新入社員研修	3年目 フォローアップ研修	次世代リーダー研修	ハラスメント研修
	MOS研修		中堅社員研修	
	1on1コーチング	メンター研修		
		キャリア採用入社時研修		
職種別研修	サプライヤー研修(商材研修)			
	職場教育(OJT)			
	営業スキル研修			
社内研修	テーマ型研修			
	ワークショップ型研修			
社外研修	各種社外研修			
自己啓発	eラーニング			
	通信教育補助制度			

「グッドキャリア企業アワード2022」大賞を受賞しました。

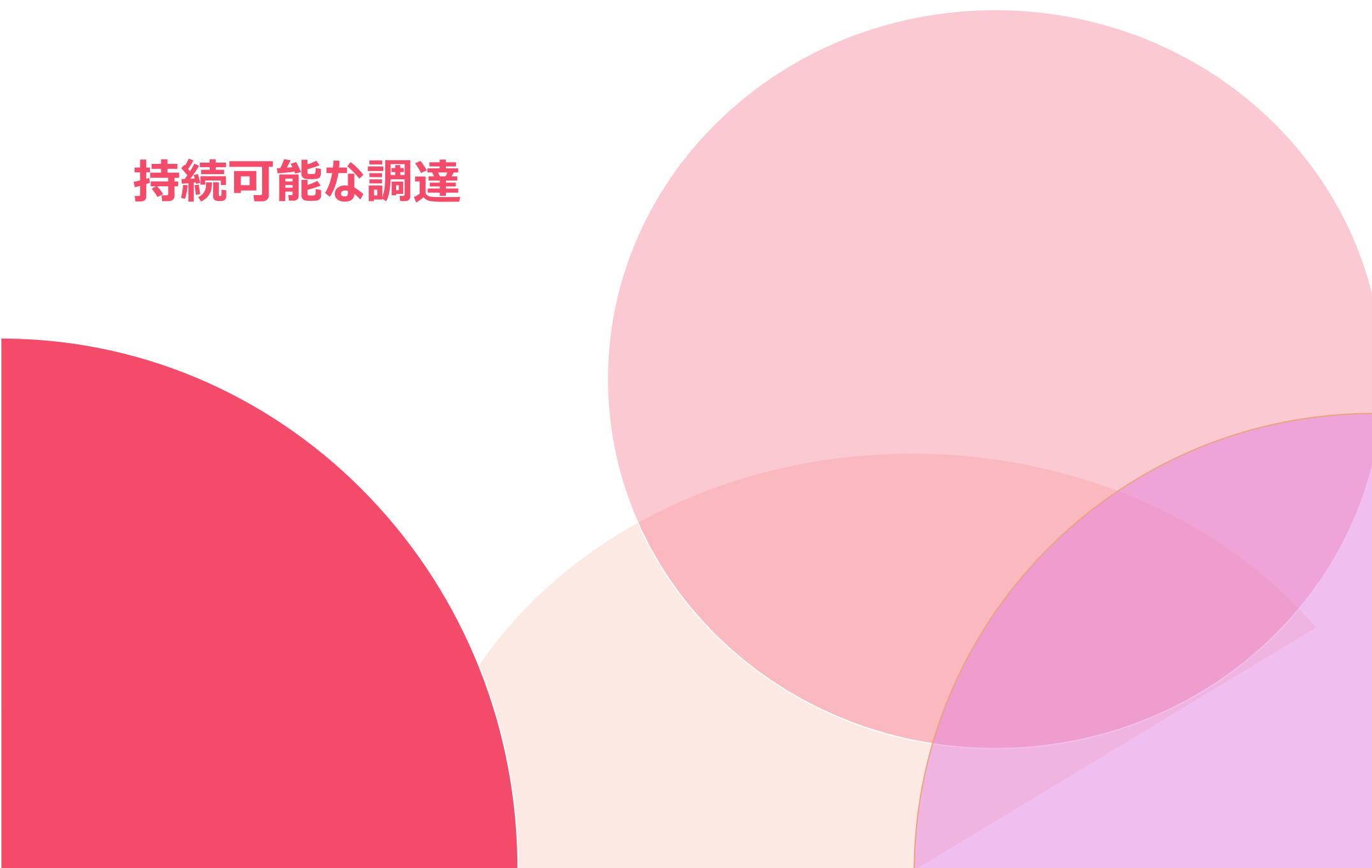


GOOD CAREER COMPANY
AWARD 2022
大賞

※グッドキャリア企業アワードとは、従業員が自律的なキャリア形成の支援について、他の模範となる取り組みを行っている企業を表彰し、その理念や取り組み内容などを広く発信することで、キャリア形成支援の重要性を普及・定着させることを目的に厚生労働省により実施されています。



持続可能な調達



サステナビリティ
方針

環境保全

労働と人権

持続可能な
調達

ガバナンス

持続可能な調達方針

イデックスビジネスサービスは、「持続可能な調達方針」を定め、全ての調達取引に関して関連法令を遵守し、ニーズ、品質、価格、環境に配慮するなど、適正な基準に基づく取引先選定を行い、公正かつ透明性のある取引を行うとともに、継続的に協力しあえる共存共栄の関係の構築に努めていきます。



環境に配慮した調達活動

イデックスビジネスサービスは、地球環境に配慮したグリーン調達を推進し、商品のライフサイクルを通じた環境負荷低減への取り組みを推進してまいります。

▶グリーン調達

環境配慮のされている原材料や部品を積極的に調達するサプライヤーを優先選定しています。

◎主要仕入先

アスクル株式会社

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

株式会社オカムラ

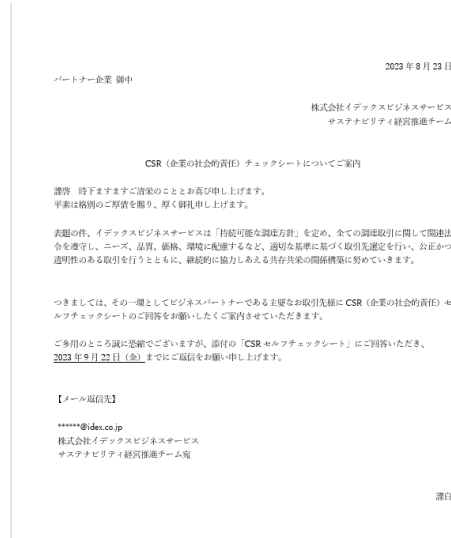


CSR調達の推進

サプライヤーの選定は、企業としての信頼性、技術力、品質・価格、納期、サービス、CSR行動規範の遵守への取組状況などの観点から、総合的かつ公正な評価により実施いたします。

▶CSR行動規範セルフチェックアンケートの実施

人権や環境に配慮した調達や社会貢献を目指した調達を実現するため、サプライヤーに向けて「CSR行動規範セルフチェックアンケート」を実施しています。



CSRセルフチェックシート

項目	質問	回答欄(選択式)
1) CSR推進全般		
【CSR推進活動について】		
1	CSRを推進することを経営方針などで明確にしているか。	
2	CSRに関する行動規範などを定めているか。	
3	CSRの推進組織や推進体制を定めているか。	
4	CSRの進捗状況を社外に公表しているか。	
5	CSRに関連して社員向けに教育研修活動を実施しているか。	
6	取引先（調達先）に対してCSRに関する方針について何らかの働きかけを行っているか。	
7	「人権・労働」に関して遵守すべき内容が方針や規定に盛り込まれているか。	
8	「安全衛生」に関して遵守すべき内容が方針や規定に盛り込まれているか。	
9	「環境」に関して遵守すべき内容が方針や規定に盛り込まれているか。	
10	「公正取引・倫理」に関して遵守すべき内容が方針や規定に盛り込まれているか。	
11	「品質・安全衛生」に関して遵守すべき内容が方針や規定に盛り込まれているか。	
12	「情報セキュリティ」に関して遵守すべき内容が方針や規定に盛り込まれているか。	
13	「社会貢献」に関する社会的責任が方針や規定に盛り込まれているか。	
14	事業活動を行うにあたり各関係者へ適正な対応をしないよう注意的な管理をしているか。	
15	「人権・労働」「安全衛生」「環境」「公正取引・倫理」「品質・安全衛生」「情報セキュリティ」それぞれに対するリスク管理が適切に行われているか。	
2) 労働・人権		
1	【強制労働の禁止】すべての従業員をその自由意思において雇用し、また従業員に強制的な労働を行わせていないか。	
2	【採入選別をしないの禁止】従業員の人権を尊重し、虐待や差別的な採用プロセスをはじめとする選別で採入選別をしないか。	
3	【就業禁止の禁止】禁止就業禁止に該当しない従業員を雇用せず、また従業員の健康を損なうような業務をさせていないか。	
4	【禁止の禁止】禁止の禁止に該当しない従業員を雇用せず、また従業員の健康を損なうような業務をさせていないか。	
5	【差別の禁止】人種・性別における差別をなくし、機会均等と促進における公平の実現に努めているか。	
6	【適切な待遇】従業員に十分な決定賃金待遇を支払い、また不当な賃金減額を行っていないか。	
7	【就業時間】法定労働時間を超えないよう、従業員の労働時間・休日・休日を適切に管理しているか。	
8	【従業員の保護】	

▶パートナーシップ構築宣言



イデックスビジネスサービスでは、サプライチェーン全体での共存共栄の推進に向けて、「パートナーシップ構築宣言」致しました。

※パートナーシップ構築宣言とは、内閣府や中小企業庁、経団連などを中心メンバーとした組織においてサプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」の立場から、企業の代表者名で宣言する制度です。

ガバナンス



サステナビリティ
方針

環境保全

労働と人権

持続可能な
調達

ガバナンス

企業倫理方針

イデックスビジネスサービスは、事業活動全般を通じて、法令遵守はもとより、企業としての社会的責任を果たしていきます。社員一人一人が高い倫理観と責任感をもって行動するだけでなく、全社で事業活動に関わる関係法令や社会規範を遵守し、良識に従って誠実に活動していきます。



コーポレートガバナンス

イデックスグループは経営理念の達成の為、社是・社訓を行動規範として全社員で共有し、お客様の信頼を得、地域社会から支持される会社として持続的に繁栄する会社を目指しています。そのために、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制や、業務の適正を確保するために必要なものとして法務省令で定める体制の整備について定めています。

▶内部統制監査

イデックスグループ会社では、毎年1回親会社による内部統制監査を受審しています。グループ各社における指摘事項はグループ会社全体に水平展開され、体制整備の強化・改善につなげています。

▶内部統制監査チェックシート

内部統制監査は親会社の監査部門により内部統制監査チェックシートを用いて実施され、各項目ごとに実際の業務やその実施状況を確認しながら行われます。監査実施後、指摘事項があればそれに対する改善予定を報告した上で、期日までに改善完了報告を行います。

リスクマネジメント

イデックスグループでは、企業活動に関わるさまざまなリスクを想定し、事前に回避、除去、軽減及び移転を図るほか、万一リスクが具現化した場合であっても、会社損失の最小化を図るべく必要な対策を実施しています。

▶事業リスクアセスメントの実施

事業リスクが顕在化する前にリスクを洗い出し、その発生頻度・損失・影響度合いを評価したうえで、対応すべきリスクを特定し、そのリスクが顕在化しないように対策を実施しています。万一、そのリスクが発生した場合であっても、最小限度に被害を低減することによって、経営の安定につなげることを目的としています。

▶事業リスクアセスメントのフロー

- (1) 事業リスクの発見・算定
- (2) 事業リスクの評価と特定
- (3) 事業リスクの対策実施
- (4) 事業リスクの進捗確認・結果報告

情報セキュリティ

お客様・パートナー・従業員からお預かりした企業情報、個人情報保護の重要性を認識し、漏洩のリスクに対する抜本的な対策を講じてまいります。

▶情報セキュリティ教育の実施

情報セキュリティ事故を未然に防ぐべく、従業員一人ひとりのセキュリティ意識の向上、セキュリティリテラシーの向上及び自社セキュリティポリシーや関連諸規定の周知を目的とし、WEB研修やe-ラーニングによる社員教育を実施しています。

実施時期	研修内容	参加人数	研修方法
2022年8月	個人情報保護法に関して	126	e-learning
2022年11月	情報セキュリティの基本	124	WEB研修
2023年2月	情報端末使用規程	123	e-learning

▶PC操作ログ管理ツール導入による情報漏洩対策実施

2022年5月にPC操作ログ管理ツールを導入し、不正操作の発見や証拠の保全を行える環境を整備しました。これにより、情報漏洩対策やセキュリティ意識の向上を図るとともに、従業員への教育・訓練もあわせて実施していきます。



コンプライアンス

腐敗行為は企業の信頼を著しく損なう重大な行為であるとの認識のもと、イデックスビジネスサービスは、社会から信頼される企業として持続可能な成長を続けていくために、健全かつ公正・透明な取引を行うことを「腐敗行為防止方針」に定めています。

▶コンプライアンス教育の実施

従業員一人ひとりがコンプライアンスの意識を持ち、社会人・組織人として望ましい行動をとることを徹底するために、e-ラーニングによる社員教育を実施しています。

▶内部通報保護制度

腐敗行為を含むコンプライアンス全般に関する通報窓口として内部通報保護制度を周知し、通報者が不利益な扱いを受けないよう内部通報保護制度の適切な運用を図っていきます。